

# 令和5年度 経済部組織目標

<b>組織名</b>	経済部	<b>部長</b>	経済部長 中川 高男
<b>組織の目的・方向性</b>	人口減少社会においても本市の経済と産業の活力を生み出し続けるため、さらなる企業誘致の推進とともに、創業や成長分野への挑戦を支えるためのきめ細かな支援を実施するほか、移住・定住を促進します。		
<b>(参考) 関連する総合計画における政策指標*</b>	一人当たり市民所得、職業を理由とした県外との転出入数、大学等新規学卒者の県内就職率、勤め先が働きやすい職場であると思う市民の割合、関係人口の創出につながる施策を通じて新潟市での暮らしに興味を抱いた人の割合		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

## 経済部組織目標

<p>組織の目的・方向性を踏まえ、今年度は以下の5つの目標に重点的に取り組みます。</p> <p><b>重点目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高機能オフィス整備の促進と IT 企業等への支援制度に加え、本社機能の誘致制度を拡充するほか、民間活力を導入した新たな手法にも取り組むなど、企業誘致を推進します。</li> <li>2 企業の DX 推進に向け、DX プラットフォームを通じた新規事業開発を支援するとともに、バーチャル技術を活用した新たなビジネスの創出を後押しするほか、脱炭素化の取り組みを推進します。</li> <li>3 若者の市内就労への意識醸成を促進するとともに、市内企業の働きやすく働きがいのある職場づくりを後押しします。また、新潟暮らしの魅力を市内外に PR することで、本市への移住促進や関係人口創出を図ります。</li> <li>4 創業前から創業後まで切れ目のない支援を関係団体と連携して実施し、創業を促進することに加え、販路開拓支援や制度融資による資金調達支援などを通じて中小企業の経営基盤強化への支援を行います。</li> <li>5 商店街が多様化する消費者ニーズに応え、集客や消費促進、賑わい創出を図るための取り組みを支援するとともに、複数の商店街等による連携を推進し、商店街振興を図ります。</li> </ol>
---

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

## 評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
<b>取組結果</b>	<p>補助事業の制度拡充や関係機関との連携を進め、新規立地事業所数は 35 社を達成しました。また、DX プラットフォームに参画する企業に対し、5G などのデジタル技術を活用した実証を支援しました。</p> <p>さらに、組織横断的に行う新潟暮らしの魅力発信や、移住者のニーズを踏まえて支援等を継続したことで移住支援金等を利用したテレワークによる移住者数は 122 人となり、本市への移住促進につなげました。</p> <p>加えて、創業支援や制度融資による資金調達支援、商店街の取り組み支援のほか、企業の人材確保・育成の支援に取り組みました。</p>				
<b>今後の方向性</b>	人口減少社会においても本市の経済と産業の活力を生み出し続けるため、企業誘致の推進や移住・定住の促進とともに、競争力強化を支えるための人材育成支援のほか、創業や成長分野への挑戦を支えるため支援に取り組みます。				